

## 学会便り 第149回秋期大会報告

## 第39回「女性会員の会」報告

### The 39th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

7回目のハイブリッド開催となった第149回秋期大会中、11月8日（土）12:10～13:10に入退室自由の、第39回女性会員の会をハイブリッド形式で開催した。参加者は合計20名（女性16名、男性4名）。現地参加は19名、オンライン参加は1名だった。参加申し込みが間に合わなかつた方、この会のお手伝いに来られた学生など、飛び入り参加となつた方が数名おられた。また、初参加は社会人1名と学生2名の計3名だった。お子さんが1名参加し、にぎやかな時間となつた。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場にはお弁当と神奈川県のお菓子を用意し、対面で会話ができるような机の配置にした。

お菓子：鳩サブレー、クルミッ子、横濱ミルフィユ、横濱生キャラメル（世話人）、クランチチョコレート（差入：寺田佳織さん）。

学会託児室を設置し、土日にのべ5名の利用があった。

この場を借りて、大会実行委員会委員長の横浜国立大学廣澤渉一先生ならびに実行委員の皆様に深く感謝申し上げる。

#### 1. 自己紹介、スピーチ

初参加者に簡単な自己紹介をしていただいた後、今回は久しぶりにひとりの方にスピーチをしていただく形式で進行した。スピーチは第17回軽金属女性未来賞を受賞された兵庫県立大学の田中芹奈先生にお願いした。

##### 1.1 スピーチ

田中芹奈先生は博士課程終了後企業に就職、その後出身大学に戻って助教を務められている。スピーチのテーマは「企業と大学で働いて感じたこと」で、企業勤務時と現在の大学勤務の「1日の過ごし方」や「環境の違い」についてお話ししていただいた。

現在は住まいと勤務地が離れているため片道約110分（！）の通勤が日常となっているとのこと。その結果、業務に充てられる時間配分が以前とは大きく変わり、働き方にいっそうの工夫が必要になっている、とのことだった。

また、企業勤務と大学勤務では待遇や制度面にそれぞれ特徴があり、特に企業勤務時では同年代の同期が近くにいたことの心強さや、今でも続くつながりの大切さについて触れられた。「やりがいは企業と大学それぞれにある」という言葉が印象的であった。

スピーチの最後には、参加者へライフプランに関する悩み



図1 スピーチをする田中芹奈先生（2025.11.8）



図2 参加者の写真撮影（2025.11.8）

が共有され、参加者から多くのアドバイスが寄せられるなど、活発な意見交換の場となつた。

#### 2. 学会託児室

2011年に託児室の設置・運営を開始した。利用者がいないときもあったが、ここ数年は1～4名ほどの利用が続いている。託児室を常設することで学会発表の機会を逃さず参加できる会員が増えることを期待している。

#### 3. おわりに

次の第150回春期大会でも女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は、女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>